

令和6年度 第6回佐治地域振興会議 議事概要

日時：令和6年11月29日（金）午後6時30分～
場所：佐治町総合支所 2階 大会議室

[出席委員] 9名

小谷繁喜、田中早雄、西尾寛茂、岸田みち代、下石聡子、無替幸夫
田中精夫、中家孝、小林憲二

[欠席委員] 3名

谷上正樹、阿久津奈穂子、井上茜

[健康こども部こども家庭局 幼児保育課] 3名

小野澤局長、浜田課長、西川参事

[事務局] 3名

下石副支所長兼地域振興課長、飯田産業建設課長
倉持地域振興課課長補佐

[日程]

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議・報告事項
 - (1) さじ保育園の休園について
 - (2) 地域振興未来プランの作成について
 - (3) その他
4. 閉会

[議事概要]

3. 協議・報告事項

- (1) さじ保育園の休園について

【幼児保育課】資料に沿って説明。

さじ保育園は、新規入所申し込みがなく、在園児も令和7年度はわずか5名となります。集団での活動や関わり、育みといった部分が大きく制限される状況になるため、来年度は休園することが決定されました。保護者には説明会が開かれ、休園についての了解を得て、転園先として、もちがせ保育園を希望される保護者は5名全員となります。今後

は、もちがせ保育園との交流を増やし、一時的な通園の形を取りながら転園を進める予定です。

【委員】小学校の統合問題にも直結するので非常に憂慮する。

【委員】保育園の統廃合については、なにか基準があるのか。

【幼児保育課】公立保育施設の再配置計画があり、最低中学校区に一つの保育施設を配置することが基準となっています。

20人未満で統廃合の対象となりますが、すぐに統廃合となるわけではなく、入園者数の推移や他の保育園の状況も考慮して検討しております。

現在は20人以下でも存続の検討が行われておりますが、さじ保育園は令和4年度から20人未満の入園者で推移していて13人の時もありましたが、存続の判断がされてきました。

10人以上なら集団の生活ができますが、今回のように5人以下となると集団での活動や関わりといった育みの部分が難しくなるため、今回の休園決定に至りました。

【委員】佐治保育園の入所希望は令和8年度以降も受け付ける予定があるのか。

【幼児保育課】出生数の回復が見られないため休園は続くと思われま。

【委員】入所希望はとらないのだろうか。このまま休園していずれ廃園の流れではなく。入所希望までとらなくても、対象者の意向確認を行ったうえで、休園を継続する判断を行うべきだと考える。

【幼児保育課】令和8年度以降は出生数の回復も見込めず、入所希望の受付はしない方針ですが、出生数の状況を見ながら再開に向けた判断を行います。ただし、休園後に入所希望を出す保護者の混乱や手間を避けるため、意向調査は早期に行いたいと考えます。

【委員】通園の距離が遠くなるわけだが、何か通園に対する支援はあるのか。

【幼児保育課】これまで休園になった保育園についても、支援はしておりませんでした。今回の説明会の中でも、保護者からそういった意見はありませんでした。

(2) 地域振興未来プランの作成について

【事務局】資料に沿って説明。

プランのたたき台には、策定の趣旨と計画期間について記載しています。また、地域の現況、人口推移、特性資源、地域の課題と取り組み、中山間地域の振興、産業振興、地域コミュニティの維持などの項目が記載されています。具体的な実施項目としては、防災減災、介護環境、地域医療、歴史文化の保存と継承などを挙げています。また、地域おこし協力隊員の活用や地域づくりの拠点の役割についても記載しています。

具体的な事業を記載したリストを加えて、次回の会議で最終案として提出し、承認を頂きたいと考えています。

【委員】さじ谷話が住民に受け入れられていなかったっていうくだけはちょっと古いですね。今は払拭されて受け入れられているので、ここは削除してポジティブな表現にしたら良いと思います。

【委員】農業は、個人じゃなくて法人化して、作れなくなった田んぼを管理して作っていくというようなことを地域として考えていかないと、個人任せじゃやっぱり限界がありますよね。

【委員】方法はそれでいいと思うけど、とりあえず基本計画の中には、耕作放棄地をそのまま放棄せずに、稲作経営に少しでも使えるように条件整備していくというようなことを入れてもいいような気がします。

【委員】人口減少対策ですが、ほき元団地がなくなってですね、そこにおられた人がだいぶ減っておられますよね。それに代わるそれこそ災害に強い市営住宅とか考えてはどうでしょう。

【委員】住宅を建てればいいっていうものじゃなくて、私の思いとしては、住宅を建てて、何年住んだらあげますといった、そういう思い切ったことをやらないと、佐治のような地域は難しいと思う。計画に当てはめるなら、関係人口の創出ではなくて中山間地域振興になりますかね。

(3) その他

スーパーアプリの実証実験について

【委員】スーパーアプリの実証実験が終了したが、状況はどうだったか。

【事務局】買い物に関しては、期間が短かったこともあり利用が少なかったです。口座振込の手続きに時間がかかったこと。操作に慣れていないことが原因として考えられます。一方、タブレットは掲示板や集落の情報共有に役立ち、便利だとの意見もありました。ただし、年配の方には操作が難しいという意見もあり、指導やサポートの重要性が感じられました。

今後も、ITの活用を推進し、高齢者にも暮らしやすい環境を提供することが求められます。次年度では、具体的な計画を検討していく予定です。

【委員】買い物された方に聞いてみたら、意外と安かったっていうようなことを聞いた。

【委員】諸問題はありますけども、その辺をクリアできたら本当に便利じゃないかな。実際にオンライン診療とかもされて、そういうことについては、意外といいんじゃないかなと思う。

【委員】年寄りだから使わないとか、無理だとか、決めつけてしまうんじゃないかと、ITを高齢者になっても少しでも活用して、住みやすい、ずっと暮らしていけるようにすることも必要だと思うので、まずはそういう指導というか操作支援などの充実も、本格実施に向けては、ソフトの部分をセットで考えてほしい。

以上、午後7時45分協議事項終了。